

米政策の見直しにより、飼料用米、加工用米に、これまで以上の支援がある。
しかし、生産者が最大限の支援を受けるには、多収が絶対条件である。制度を良く理解して、最大限の交付を受けられるようにしたい。

多収性専用品種での
取組みが有利

飼料用米・米粉用米については上限を10・5万円/10aとする数量払いが導入された。
数量払いの仕組みを簡単に要約すると、当該地域に応じた単収(標準単収値)で8万円を交付。それより増収した米にkg当たり167

円ずつ加算し、上限を10・5万円/10aとする。

つまり、その地域の配分単収より150kg/10a増収しないと上限には達しないということのようである。

地域の標準単収より150kg(2俵半)もの増収であり、多収品種の導入が必至である。

表1は、庄内・由利地域の標準単収値と上限数値を示したものである。調査したところ、市や町あるいは地域によって県からの配分単収をそのまま標準単収としている市や町もあるが、若干の調整を加えている所もあるようなので、あくまでも参考数値と捉えて頂きたい。

また、飼料用米・米粉用米につ

表1. 庄内(市・町)・由利(地区別)標準単収値と上限数値
(市・町からの聞き取り調査・松浦作表)

市・町・地域	配分標準単収 (kg/10a)	「10.5万円/10a」を達成する数量 (kg/10a)	
庄内地域	鶴岡市	※579	729
	三川町	※602	752
	庄内町	※590	740
	酒田市	※618	768
由利地域	遊佐町	※602	752
	本庄地区	※591	741
	矢島地区	※584	734
	岩城地区	※522	672
	由利地区	※594	744
	大内地区	※558	708
東山地区	東山地区	※544	694
	西目地区	※574	724
	島海地区	※541	691

※県から示された配分単収に、10.5万円を達成するための「150kg/10a」を加算した上限数値を示したものである。各市町によっては、種々の条件で標準単収を調整しているところもありますので、あくまでも参考数値として捉えて下さい。

いての多収性専用品種への取組み、加工用米の複数年契約(3年間)の取組みに対し、1・2万円/10aを交付するとしている。
なお、「水田フル活用ビジョン」の策定を、産地交付金の交付条件としているようである。
大豆や麦等の畑作物による転作

と違って、水田のままで作れる。
また、標高が低く、大雨のたびに冠水や湿害等で畑作物は、なんとしても作り難かったり、頑張っても、反収250kg以上の大豆ができたにもかかわらず、雨や雪で収穫できなかつたりする地域・地帯には有利で生産意欲にも繋がるよう

うにおもわれる。
なによりも、耕畜連携による自給率及び自給力の向上と地力の増強及びコストの低減が図られる事に期待したいものである。

多収性品種の栽培適地

図1は、農林水産省の「加工用米及び飼料用米等、新規需要米の生産に向けて」より抜粋したものである。

安全作期などを考えた適地適品種が基本である事柄を考えると、庄内・由利地域での多収性品種は現在のところ図1の太線内「ベコ

単価が安いほどにコストの低減に努めなければならぬ。
表2に施肥量の目安

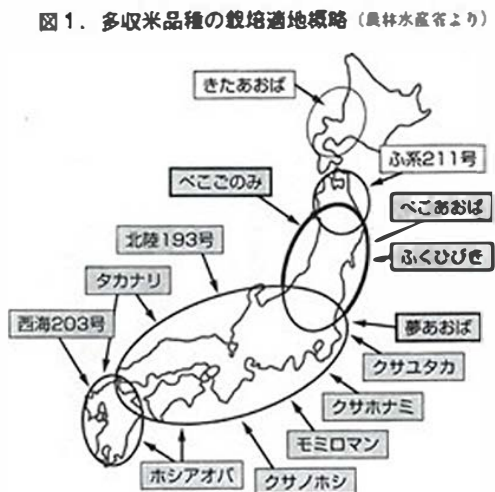


表2. 多収性飼料用米品種のイナ型及び施肥量の目安

(良水省資料参考に松浦作表)

品種	出穂期		稈長 cm	施肥量(N成分)	
	月・日	月・日		基肥	穂肥
ふくひびき	8・9	9・23	75	6~8kg/10a	2~4kg/10a
べこごのみ	7・25	8・31	79	6~8kg/10a	2~4kg/10a
べこあおば	8・7	9・24	70	6~8kg/10a	2~4kg/10a
夢あおば	7・29	9・10	86	6kg/10a	3kg/10a

※ふくひびき・べこごのみ・べこあおばは東北農研による、夢あおばは中央農研北陸センターによる説明データに基づいたもの。

目安を示した通り、一般主食用米より多肥しないと増収できないようである。
また、タンパク含有量等の心配がいらぬから、積極的に多肥多収としたいが化学肥料依存度が高いほどコスト高になりかねない。
耕畜連携による畜産堆肥や豚尿液の流し込み等による地力の増強により、コスト低減しながらも多収できれば経営の安定にも繋がる。

「ベコごのみ」早生品種で耐倒伏性に優れ、直播栽培にも適している。玄米は中粒で、乳白等で品質が劣るため一般品種との識別が容易である。
また、牛の嗜好性は良好で、ホールクロップサイレージにも適しているようである。
「べこあおば」・ふくひびきより玄米収量が6%くらい多収。短稈で極多肥条件でも倒れず収量が多い。玄米は大粒で、一般品種との識別が容易である。
「夢あおば」稈が太く、耐倒伏性は極強なので落水直播に適する。玄米が大粒で一般品種と識別が容易である。玄米収量が高いので飼料用米に好適である。
前述した品種特性を十分發揮して多収に結びつけたいものである。